

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-382-4689

年度	令和2年度		
施設名	江南区郷土資料館	所管部・課	江南区産業振興課
施設の設置目的	江南区の歴史資料、民俗資料その他資料を保存・公開することにより、市民の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに、市民文化の向上に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R2.7.1
歳入	19	正職員		修正日	
歳出	3,898	会計年度任用職員	3	評価日	R3.7.1

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標					R2結果
1	市民	入館者数の目標数達成	年間入館者数15,000人以上(単位:人)	20,834	21,052	22,380	15,000	17,872	新型コロナウイルスの影響を考慮(R1実績×減少率)	江南区郷土史講座、歴史講座、収蔵品を活用した企画展など	江南区俳句展を中止したが、感染防止対策や、各講座の講師、テーマ・内容等を工夫したこと等により、来館者数につながった。	A:達成(優)
2	市民	設置目的に合致したサービスの提供	小・中学校来館(出前授業)数 年7校以上(単位:校)	15	14	16	8	7	新型コロナウイルスの影響を考慮(R1実績×減少率)	江南区校長会等での事業紹介、区内小学校への社会見学サポート(江南区郷土史学習支援事業)を実施	大雪の影響で区内小学校1校が「江南区郷土史学習支援事業」による来館を断念した。同事業を活用した来館だけでなく、区外小学校からも出前授業等の要望や相談が継続して増加している。	C:未達成
3	市民	子ども向け講座の充実	年間開催数2回以上(単位:回)	4	4	4	2	1	新型コロナウイルスの影響を考慮(R1実績×減少率)	学校の長期休暇に合わせて体験教室(土器づくり・火おこし等)を開催	新型コロナウイルス感染拡大防止や講師の都合(親族の不幸)により、夏休みと春休みの講座開催を中止した。冬休み子ども体験教室のみの開催となった。	C:未達成
4	業務	他施設との連携	他施設との年間共同開催1件以上(単位:件)	3	2	2	1	2	新型コロナウイルスの影響を考慮(R1実績×減少率)	新津美術館移動展等の開催	新津美術館移動展と、亀田図書館との「みんなの俳句展」の開催により、相互の連携や情報共有の強化につながった。	A:達成(優)
5	業務	安全確保体制の確立	資料館単独防災訓練 年1回以上実施(単位:回)	1	1	2	1	1	資料館単独で防災訓練を実施	防災訓練の実施	利用者の安全と文化財の保護を強く意識して、計画的に訓練を実施した。	B:達成
6	人材	スタッフの研修	資料館内研修会 年6回以上実施(単位:回/年間)	13	13	12	6	7	新型コロナウイルスの影響を考慮し(R1実績×減少率)	古文書勉強会・視察研修など	館長が中心となり、古文書勉強会の講師も担当しながら、ボランティアスタッフの研修・交流に努めた。視察研修もボランティアの研修・交流の機会となった。	B:達成
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
「水と土のあゆみ」をテーマに、江南区の歴史・文化をより多くの市民に知っていただける施設を目指します。そのため市民の方が来館された際により知識を深められ、満足していただけるような資料館づくりを進めます。	大雪による講座の中止等もあったが、主催講座の内容等に工夫を加えるとともに、中学生や市民による「みんなの俳句展」など亀田図書館との連携事業によって、厳しい状況ながらも入館者数の維持や確保に繋がったと評価する。次世代への歴史文化の継承においては、本年度も区内小学校の来館をサポートする「江南区郷土史学習支援事業」が有効であった。職員及びボランティアの勉強会や視察研修を実施したことで、ガイドサービスがさらに向上した。年間を通じて新型コロナウイルスの影響を強く受けたが、適宜対応しつつ、全体として目標を概ね達成することができた。引き続き利用者への安全を確保しながらも、ボランティアスタッフとともに適切かつ満足いただけるサービスを提供できるよう努める。